

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 2 年 2 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <http://www.jha-e.com/>受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)発 行 日 毎月 1 日
定 価 1 部 150 円 1 カ年 1,600 円(税込・送料込)
郵便振替 00190-5-396045
名 義 一般社団法人 日本病院会 通信教育部

更なる調和をめざして

渡邊 一平

東海大学 平和戦略国際研究所 研究員

昨年は、新元号「令和」の制定とラグビーワールドカップ (RWC) 日本開催が注目された。すでに様々な所で紹介がなされているが、両者に共通しているのが調和である。

西暦を使用する国が多い中で、日本は元号を使用して、歴史や伝統を守りつつ、古き時代を新しき時代へと紡いで社会の調和を図ってきた。元号「令和」には美しい文化を創造する調和の意味が込められている。

RWC では、one team をモットーにする日本代表チームの活躍に日本中が熱い声援を送るとともに、各国チームへの応援でも湧いた。日本代表の選手構成は外国選手も多く、日本代表というよりも国際代表チームの呈をなすが、それ故に、個性豊かな異質の選手たちの能力を活かすには one team として調和していくことが求められた。

この調和について診療情報管理士の業務から考えてみると、その業務は、医療機関において、直接患者に接する業務ではないが、医療機関が提供した医療サービスの総体を、病名を基に集約された情報として集積・解析する業務である。医療サービスは、入院患者・外来患者・在宅患者にたいして診療各科、診療支援組織が one team として協力して提供した成果である。この成果を評価して、診療報酬に反映するため、国際基準として歴史ある ICD にかかわる知識が求められる。そのうえで、複数診療科に亘る医療サービスが提供された場合、主たる医療サービスに投入された資源により主病名を検証する業務である。病名を検証するには、各診療科・診療支援組織との調和が不可欠である。

医療概念の広がりにより、従来の狭義の医療は広義の医療である医療・保健・介護福祉サービスの連携へと広がって来た。医学の発展や医療技術の開発により、ICD-11 では病名はさらに細分化された。新たに、伝統医学分野も採用された。

診療情報管理士の業務も患者を一人の生活者として捉えることが必要であり、疾病分類だけではなく生活分類などが派生している。日本は調和の精神に長けており、従来の医療サービスと社会サービスとの調和へと展開することが期待されている。

診療情報管理士を目指している皆様には、伝統の ICD から新規 ICD への適応と拡大する医療サービスとの調和に挑戦していただきたい。

資格取得後の更なる研鑽を期待しています。

